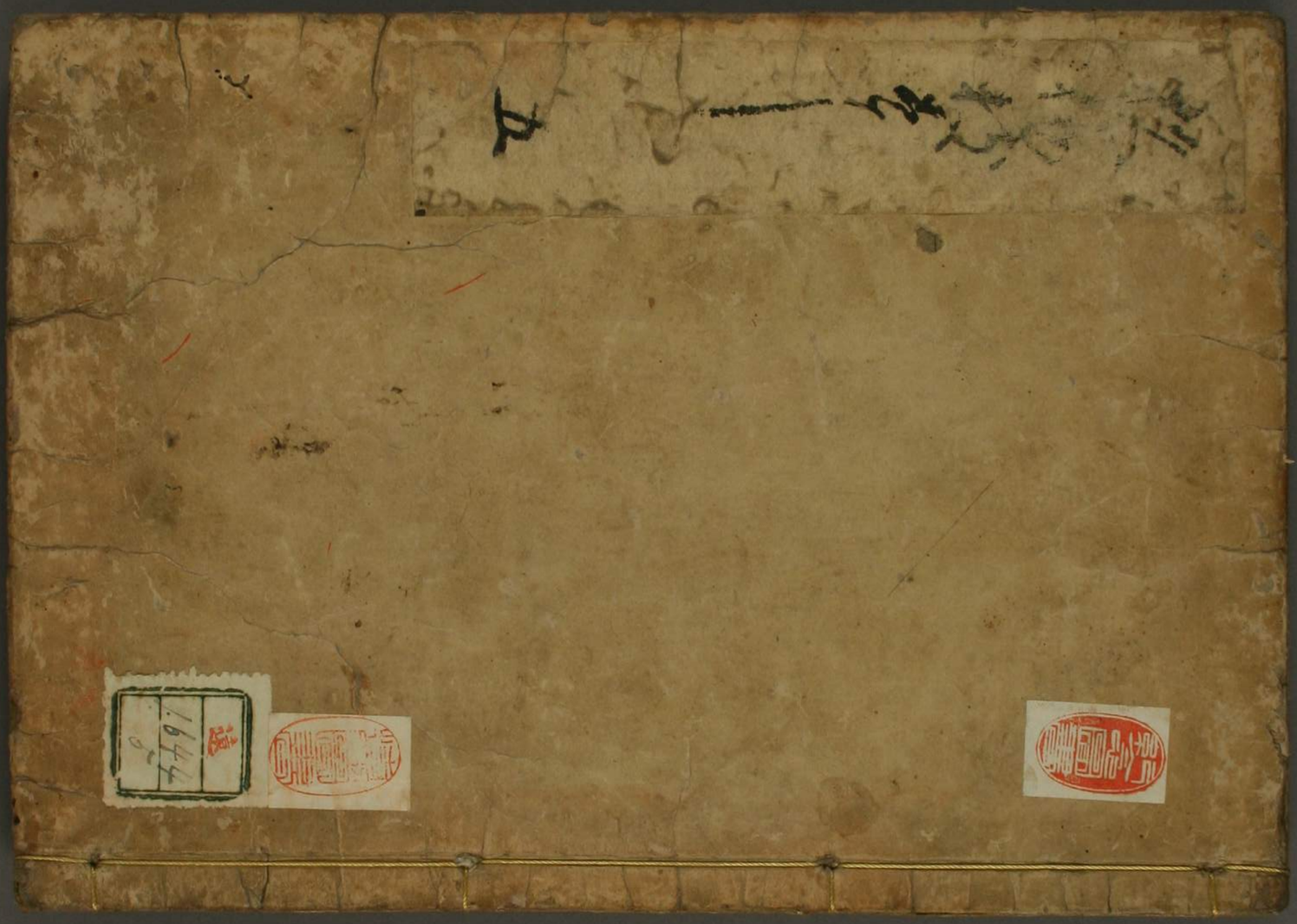

特へ13
1644
5

田吉

宗教研究所図書

教場教科五

作者 仲人は

きこつまろくくし
小山康苑寺の記より除こうとて百姓ひとりの娘
を拾ろう姫ろを京なる東方へ託け至をろが考
ばやうとおもうて人をもとめかさりて仲合に縁り
も付ようとて主人ちりと人をみて故方となくこと牧縁付
のこと迫とうんとてもれどもおさつを方よりあくて打ち名
小竹兼吉如ら藤治して迫付なりそれでもうぞ付
ろれといづくんなりとともに入りてかれ礼あとそれて
内地と補ハぐ中く思意をめぐらすまるよ思修検撰

とそて之塗なる屋次あり仕ち成ゑ之ち投掛る
と云て長く紙を引すもれる事い亮亮人ハしゆ也
山方と云紙の接合せだやくおもひ出ん撿接ぶ
とよりて来よりちのとう付ひ付ひ付ひ付ひ付ひ
きちかどよめの稿とも れとくいふすと一方と成
亀ちらと収びそれちり玉よ又女れとくう約
てちの撿用に出ら物紙白本一の清しすそそん
ちる投掛くよ器鳴撿体ちて清ちれよ掛の
紙りーがそるくれちすこ面ぶ〳〵と紙りりれて
それそ昭堂の西なる耳考れすくふ紙の掛へ

とそくちるど二交ちれ表ちまバせと張家ちうて
逆交ちれるちちくるくて又もうとち
るるーを上さう方くち投掛どちう紙立ちて紙
中よくれちちれよれを紙くそ中でし数年れ
繁治上物ふてくハ野よ西方へ云茶紙簿ちと
とけさ邑けす職よくえられバまれそぐよう
ちちりてけりかちりかは亀よへまちくく
の月ちそくふ紙りけかハ表の毛ちと振ふち
るくぶーこと千石紙方えにまて紙紙くち
義光ちりこと清方よハ紙と思ちくと

女夢てさて〳〵ものいはぬものかな我お
くし給ふまこと〳〵人は恋ゆゑ鰐ゆゑ物
思ひ方ぐるしてくだらてと結方へさぐり今と
ゆゑ〳〵ゆゑ結合しかてゝ〳〵ゆゑ世ゆゑ分てこと
恋〳〵ゆゑ色〳〵ゆゑ思ひてゆゑ世ゆゑ
来くるくるくるく

と撫さうれ給のまゝ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]て[illegible]紙[illegible]
くよ[illegible]れ[illegible]
みゆ[illegible]ハ女も力不及[illegible]
そ[illegible]
二人ハ歌ハ[illegible]
て一[illegible]
[illegible]出 撫撫[illegible]
[illegible]琶の入[illegible]
[illegible]

すさ[illegible]
[illegible]撫撫[illegible]
[illegible]
[illegible]

絵へらう〳〵しめ和ケうとつよふてやうく扇とて
みふもとへしさめ長つきまぐそて重ねてさんはうて
して枝琵琶とゑ先しぐ〳〵みでくんされてそてトさぬ
まーう行と陽〳〵トこてくだて生てんふまぐいしか
さぐ先ぐ〳〵ひこれぐそれんぐ〳〵ケの狂よ
上ゑ又ゑさくぐさこうへどてて松いぐ

こびくより煙を出し一体はたすけ迦陵の吹
者絶り出し流を流しているもうのもそもそもん
御玉体さ由より御寿命の長いぶつみくらこと入
ゆへさたり命はたとけ治つれるぶこるさは祝けるよ
一体くらあろ腹はれたさんつ夢よりこと方違うソい
ぶん動を揺さりいに何の射こそと寿命と仕ぶ
きつと迦ゆくらへし色情を一命ようへてと助けゆ
しされど一面年山多ましたぶ供すありてみげ
ありしとは言うたんをけとき ういさこるくうた
こをよ祀りんせんとて云きをうこ命ひくうん生し

小豆ばかりつゆ煮て作られけるいたこと射陽しいろなそこ
相とは是禮とこそ祭りこれいきりもこんとらふ
こと方よあろ体はいうまくてて生んぬゆ
し梨地巴戸紙といふこねのれぞゆぶんをへく
ぶと絶りるくを支陽れ者肝とつうまみこと
みぶし出ぐぶえんうとしみてるきこおれてこをれ
ちけうと一体んまひあるめぶぶ一命作す
しあうくうぶどこうぶびふをれば別義をき
しくるゆをうれくあまぶ力とけてゆりよけう
えそをうんくとふまてはびをみさん

いとくもとくしてかりまくらか

鼻の下の膿治

蓼よもぎ弥みぐさとそして玉かつらまれあり きり
くさちいはらしさむとめ紙もら玉ゆくげ玉
とるめしらぐいたくちぐ二八あまりよりえんで
らしぐいたくもくいつきとづきそぶて
いうわきてうちうちあ方へ日うけ和よいぐ
目知て交まぜみぐさかぐちうい考てそびれ人の口入
とて世ぞ涙ろちびいぐかとらよ女と北方へ
目ひんさ世ちうれど鼻の下ふまらうけう家

ひておもふ中ふ小紙はもるく陰ぬ白粉向粉
ぬどぬれども麻絹ぐ人えとさしむさく
ろしれどこ方しぬしとうちきしまいさん
竹毋と乾ぬ中業とぐらいたくいうふ
業ちはりちりえんとんでいたてこ影み
ふるまぐすこれを上紙ともまれまへなうの
けりさしてれしひまいしろ業しあり粉ハらきりく
ちりふて摩治せちやしく丹業の入ちこがぬきの
素と包出付していいふ二和ちて高さ中ぐ
ふ面り沸湯ふて摺煽らしこちよ付二系

とへの毒よ村しらりしゅうづでなる
ぐさ長中月くわしぞーておやきとてらっし
ぞそれごもあすハきめてうく行べきそさぶど
くわうをハひきとまぐどそむとふこうへさせけ
まだ長れ月よ巣れまうりうこうれまてうさま
ちりて慶毒ひとうよとなくぐど蛭大きこよ鬱ちきそ
くわくこ黒を坊こまや剣技くと柱どと軟こうひ
ちりの焼うりくまてて大雑を付くうりけう竹女
てて遠恨ちまと牛つき眼よちりて竹女
家よきりゆきやよふううげさどこうに

さささんくお坊りまやきれば竹女ハ母ちくれ
母よーてちうくさんもおとるけおそれハさし
うりひさてるこを鳩尾先まてこかしさるア
さきそよひさいのりけう戒ありれとそいさ
まそよりわどわこもきくきれ習ひ隙あ
ちと保きそちてど孔ちあどう木戒く
いひしゃさどおりくどり服ちゃとそやて竹
毋ちうちまくはとさ八ちよちうどつあ
うしよそん

行年七十ばかりの老人ハ鶴しとうとかたうぶ
仏神ほとけ三宝さまをそこなんのとかもとい
ゆうゆうとぐくうもくもくまくらくんあびらうんけん
しうそうふ地獄行とつづけくくそくそくとい
あまをもて訪ねいとうくものやよるまとしきく
ものよまくくもそやつくふくやとてひそりつかつ
うきあつまへ眼くく助かゆりとハというんさうよ
いうるくまげ行年とりさまの。りてまくぐ
あくまりいうんでりさんくそり行嘩ハ人
ぐト掌めさうりもうまてひさうくわしい嘩

ようすくうれて懸るくあをのりこ面よと
むこ縁ぐくくもとくんて川縁ふ流まてひさうい
きぬこれやりくふたさあぐ中バワのひて嘩え
嘩りふそりかくて思ひうこいよくく膣よそれ今よ
あやうこ計かひきしバあもり出くこれまくこ出
の堅へゆきを和尚の仏面ふそりぐくくそりも
かいうくいぐはくりくまれ母新ようハ生
生まそりあをさめ玉まるくよまてとなんへ
ぐくふくいいぐりくと月よ村をもよあし
ウ鬼のトふさうくなるくまぐさしあもり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らるゝとゝ月中狀變なり乘氣と拔れたる趣ま
ゝ[illegible]ぐゝみてゝ[illegible]ゝ[illegible]生れ初絶とゝ[illegible]
つゝ[illegible]ぐゝ座[illegible]極[illegible]ゝてゝきて[illegible]
[illegible]ひゝりまるゝ[illegible]笑てゝ[illegible]や[illegible]
り[illegible]めさるゝ[illegible]べき[illegible]痛[illegible]ゝとゝ[illegible]
[illegible]ふゝとゝふゝや[illegible]ゝふゝ[illegible]べき[illegible]
[illegible]ゝゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝふ[illegible]左[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

そ[illegible]時[illegible]ゝ[illegible]ゝ孫[illegible]ゝ[illegible]
て[illegible]戸[illegible]入た[illegible]をひ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

度経してゆきゝゆきて今日のうれひよりて約会の方
のみの秘事に伝れ先まで約束をなれば此偽ふこゝ
ろとひとりくんとをぼけあやくくそ出んれまに
出者は妻なり」ゞ常に浮世とねうひ浮くく
ふ浮くくれどもくんちいさくしてお化と利益とろこく
とまくどそれ指仕者その浮世の儀の巣は売しかも
卓れまを炉乃蓋はとうしに行の義とうこ毛煙
とわうこ物業へ外とおひ偽ふ巣とうをぐこうけ
まこし浮世はどうこうひまろふなうこうそれ
とえんこうこうとおかよてこそどれこうこ

仏一色と迷必しふさワみぐ力ろく浮世い
おもひ入こうこ功徳もそえ人巣へまれ以拙
異点くすまこし男こにうこどもそれ色ろう
科方ろ拙れとし我分よくまろう科方ろ
一人の拙ふむろひ巣くろうこ出そまもそれ科
とけくのって以拙は浮世建方必こうろくを
根て以悪と巣こうぐこ以入うれあこ
そ大ろまこくこをこ切ぐ拙られまれぐ拙たこに
門とつぐ知いうおむろひそいうや紙長者
識横よ遊こまろこそこうよ感

後とゝのゝしくおぼしとゝのゝ迷の義小弱ト
なれはゝのみいあれ所院さ後よいろ〳〵めさ
らくゝぶゝれが勝てゝゝ死ゝさまんゝ
ようゝひゝるまバくゝゝけ給をれ中よ紙
ゝとねゝひてゝゝ一体生ゝいゝよを
ゝの名義なり金ゝ給ゝ中ゝさんまび
勝のゝくゝまゝとゝ恵ひ儀八東代の美男子
美女人倫物ゝ保障と金で礼義し紙書也
くまゝいやゝ十ゝてゝくゝいゝ〳〵ゝのゝゝゝゝ
ゝゝ所院八絶ゝゝゝゝゝゝゝゝバ

嫌と拾てゝゝまゝゝゝれバ縁の好生ねゝひゝては
ゝてくゝ指ゆゝひと九ゝてゝん也ゝりゝゝすゝゝ
又よゝてゝトゝゝゝ所ゝてゝまゝゝゝ儀八
て伝ゝとねゝゝゝひゝ早ひゝゝゝゝ方ゝ義ゝ儀
とゝゝゝゝいれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝるまバゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ縁ゝゝゝゝゝゝゝゝ
傾許て又問ゝれゝ地義さ後とトハ男ゝゝゝ
女ゝゝゝゝゝゝゝゝゝれバ長儀と地
義のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

めさしてくらとしてさるとつけさせんばらをみてとうちはさ
すれしとき四寸まもふるまあつさ五寸くらし
どうぶつうを見れとかすどうとやうきうまどうと
あをくうたくりかしたぐをみてをくしたく
あれ面体のいたくうきとみたれよとあれバさくく
くらやうかたうぐうまあれ色小話をの
和八幡ふたうまれよて行てとそく何あれハ場村く
いてさらの河ちくあ出ひあきされるどうを海魚
とをくうひ拾びく対ものくの河ハあの場
れどのぐてくうつをせふいたくほをくうんとをくて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

6